

L-01 世界のビジュアル化 / 地図とインフォグラフィックをめぐって

講師 / 津田 佳紀 (ツダ ヨシノリ)

コース / 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 教授
 科目 / 映像メディア表現、デザイン実技、デザイン演習、卒業制作
 可能日 / 事前にご連絡下されば能う限り調整致します。
 形式 / 講義

【講義内容】

人間は世界をどのように捉えてきたか? 古代の地図から、グーグルマップなどに見られる近年の情報環境における地図への進化、及び自動運転や位置情報ゲームなどについて、文化的背景や関連する芸術作品を取り混ぜ解説します。

■必要機器 / 特になし (あればプロジェクターと映写可能な壁・スクリーン)

■受講者に事前に準備していただきたい内容 / 得にありません。

■受講される方にひとこと / 地図と地図の背景にある文化や世界観についてお話しします。旅やロードムービー、位置情報ゲーム (ポケモンGOなど) が好きな人にもおすすめです。



L-02 「見ること」と「見られること」

講師 / 津田 佳紀 (ツダ ヨシノリ)

コース / 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 教授
 科目 / 映像メディア表現、デザイン実技、デザイン演習、卒業制作
 可能日 / 事前にご連絡下されば能う限り調整致します。
 形式 / 講義

【講義内容】

「見ること」と「見られること」によって形成される人間社会について、絵画や映像作品をヒートにしながら探ります。また、その背景にある社会の構造についても考えます。

■必要機器 / 特になし (あればプロジェクターと映写可能な壁・スクリーン)

■受講者に事前に準備していただきたい内容 / 得にありません。

■受講される方にひとこと / 映画や、PV、コマーシャルムービーなどに興味のある人は、この授業をつうじて、それらの映像をこれまでとは異なる視点で捉え直す機会になるかもしれません。

L-03 目からウロコの日常物分析ー総合的な探究and/or家庭×芸術・文化

講師 / 茶谷 薫 (チャタニカオル)

コース / 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 教授
 科目 / 異文化体験、人類生存のための教養、芸術教養レビュー、卒業研究
 可能日 / 事前にご連絡下されば能う限り調整致します。
 形式 / 演習と実技

【講義内容】

生活に欠かせない家庭基礎・家庭総合・生活技術は、人間の人生そのものと深く関わり、総合的な探究と密接です。特に食・衣服・住居は芸術や文化の多様性を知る格好の教材です。この授業では幅広い文化を学びます。

■必要機器 / 特になし (あればプロジェクターと映写可能な壁・スクリーン、家庭科室) ■受講者に事前に準備していただきたい内容 / 自宅やコンビニ、スーパーで親しんでいる食べ物や、衣服・生活空間・家具・建物などをジックリ見ておいてください。

■受講される方にひとこと / 私たちの生活に当たり前のようにある食べ物や衣服、家具、家屋などは、実は「デザイン」されたもの、文化的なものです。日常にあるさまざまな物事を分析し、生活をよりいっそう深く楽しいものにし、学びへの動機を高めましょう。



L-04 「推し」から広がる世界

講師 / 茶谷 薫 (チャタニカオル)

コース / 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 教授
 科目 / 異文化体験、人類生存のための教養、芸術教養レビュー、卒業研究
 可能日 / 事前にご連絡下されば能う限り調整致します。
 形式 / 演習と実技

【講義内容】

推しのキャラ、楽しいストーリー、気になっている世界観...なぜそれが好きなのか。自分と作品や作品世界の関係を、歴史・地理・自然科学・文化など、世界を幅広く深く学ぶ楽しさを得ていくことが目的です。

■必要機器 / 特になし (あればプロジェクターと映写可能な壁・スクリーン、家庭科室)

■受講者に事前に準備していただきたい内容 / 好きな作品 (マンガやアニメ、ゲーム、曲など) や人 (アイドルなど) を見直してください。 ■受講される方にひとこと / 好きなものがある、ということは素晴らしいことです。それが学びで最も重要なことです。好きなものを出発点に「総合的な探究」をしていきましょう。

L-05 やってみよう!ここにしかない世界にひとつだけの映画づくり

講師 / 酒井 健宏 (サカイ タケヒロ)

コース / 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 准教授
 科目 / ムービー制作 映像論 芸術の記号論 教養文化と職業
 可能日 / 事前にご相談下されば可能な限り調整致します。
 形式 / ワークショップ

【講義内容】

映像制作は難しそうに思えるかもしれませんが実はすごくシンプルです。みんなのアイデアを組み合わせ、スマホのカメラで一一緒に動画を撮ってみよう。ここにしかないたったひとつの映画をつくる。考える楽しさを体験しよう。

■必要機器 / プロジェクター、スクリーン、スマートフォンまたはタブレット端末

■受講者に事前に準備していただきたい内容 / 特になし ■受講される方にひとこと / 考えたことを動画で表現する機会が増えました。見ることと、見せること。コミュニケーションの手段として、ますます重要なものになっていくでしょう。



L-06 みて、はなして、世界が広がる。対話型鑑賞にチャレンジ

講師 / 松村 淳子 (マツムラ アツコ)

コース / 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 講師
 科目 / 博物館概論、セミナー、プロジェクト、レビュー、芸術と社会
 可能日 / 火曜日、その他相談
 形式 / ワークショップ

【講義内容】

「対話型鑑賞」とは、鑑賞した体験を言葉にして他者と共有し、新しい気づきを得、コミュニケーションや語彙力、伝達力も高めることができる鑑賞プログラムです。作品について話し合い、自分の見ている世界を広げてみましょう。

■必要機器 / プロジェクター、スクリーンまたはモニタ、いす ■受講者に事前に準備していただきたい内容 / 特になし

■受講される方にひとこと / 「対話型鑑賞」のポイント「話し上手」よりも「聞き上手」になること。作品のナゾをとくつもりで、楽しんで参加してください。

